

Marking Think Tool race

((



arnwark

目次

1. ツールについて	2
2. 記述方法	3
3. 記述例	4

1. ツールについて

Marking Think は、考えが浮かぶごとに文字の代わりにマークを記していくという思考方法です。文字を書くより気軽に考えることができ、また割と簡単に要点を押さえられるというメリットがあります。

race はその方法を使った、考えが理想と現実とどれぐらい一致するかを比較しながら考えるツールです。

理想と現実のギャップを視覚的に捉え、考えるべきことを模索します。

ギャップの小さい事柄を見付け、そこから考えを膨らますといいかもしれません。

2. 記述方法

- (1) 6×2のマスを考える数だけ作成します。
- (2) 一行目は理想、二行目は現実を記入します。
- (3) 各列は0%、20%、40%、60%、80%、100%を意味します。
- (4) 考えが浮かべば、理想と現実にどれだけ一致しているかをおおよそで判定します。そしてそれぞれ該当する列に、○を記入します。
- (5) 判定できない事柄については理想と現実の両方を0%にします。
- (6) 重要な事柄には●を記入します。
- (7) 結論が出ればそこで完了です。

3. 記述例

(1) ゆっくり考えたい (理想 100%、現実 0%)

					○
○					

(2) 家では落ち着かない (理想 80%、現実 0%)

					○
○					

				○	
○					

(3) 図書館は飲食できない (理想 80%、現実 20%)

					○
○					

				○	
○					

				○	
	○				

(4) せめて飲み物は欲しい (判定不能、重要)

					○
○					

				○	
○					

				○	
	○				

●					
●					

(5) 喫茶店は敷居が高い (理想 80%、現実 40%)

					○
○					

				○	
○					

				○	
	○				

●					
●					

				○	
		○			

(6) 公園で考える (理想60%、現実60%、重要)

						○
○						

				○		
○						

				○		
	○					

●						
●						

				○		
		○				

			●			
			●			

表題 Marking Think Tool race

著作 arnwark

第一版 2024年9月28日

Marking Think Tool race

著 arnwark

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
